

放射能関係のお知らせ

2017年5月5回(B週)

お届け日:2017/5/29~6/2
発行日:2017/5/15



本誌は、カタログ掲載の青果について、2017/5/11(木)午前中までの放射能自主検査の結果をお伝えしています。

●青果 放射能が検出されていない産地(セシウム 134,137 それぞれ 3Bq/kg 以下)

分類	品目名	放射能検査の状況	
果実	梅	検査予定	小田原
	さくらんぼ	検査予定	さくらんぼひがしね
	すいか	品目で検査済	北つくば
		検査予定	八千代
	メロン	品目で検査済	旭村
検査予定		葉菜野果・八千代・ほこた・常総産直	
りんご	品目で検査済	八峰園・ゴールド農園	
果菜	枝豆	検査予定	野菜くらぶ
	きゅうり	品目で検査済	みちのく野菜・たまつくり・八千代・野菜くらぶ・邑楽館林・村悟空・佐原・サンド旭・和郷
		果菜類で検査済	谷田部・沃土
		検査予定	あいづ
	スナップえんどう	品目で検査済	ふくしま未来・八街
		果菜類で検査済	二本松
		検査予定	あいづ・風土の会
	ズッキーニ	品目で検査済	風土の会
		果菜類で検査済	沃土
		検査予定	飯山
そらまめ	検査予定	常総・やさと・和郷	
	果菜類で検査済	八街	
トマト	品目で検査済	谷田部・葉菜野果・うつのみや・野菜くらぶ・沃土・八街	
	果菜類で検査済	たまつくり・元気会・村悟空・佐原・いちかわ	
ピーマン	果菜類で検査済	谷田部・八千代・沃土・和郷	
ミニトマト	品目で検査済	あゆみの会・元気会・サンド旭・和郷	
	果菜類で検査済	八千代・野菜くらぶ・沃土・村悟空	
アスパラ	品目で検査済	あいづ・うつのみや・飯山	
	葉菜類で検査済	庄内たがわ	
	空芯菜	葉菜類で検査済	遠州
大葉	葉菜類で検査済	村悟空・和郷	
キャベツ	品目で検査済	谷田部・八千代・たまつくり・よこすか葉山・三浦EM・遠州	
	葉菜類で検査済	有機農法ギルド・常総産直・野菜くらぶ・村悟空・海上・佐原・和郷・八街・風土の会・三浦市	
小松菜	品目で検査済	有機農法ギルド・葉菜野果・野菜くらぶ・群馬モグラ・沃土・南埼玉・佐原・風土の会	
	葉菜類で検査済	谷田部・たまつくり・やさと・草の会・八街	
サニーレタス	葉菜類で検査済	谷田部・有機農法ギルド・八千代・常総産直・野菜くらぶ・八街・和郷・風土の会・佐久ゆき・トップリバー・グットファーム	
	検査予定	菅平	
チンゲン菜	品目で検査済	あゆみの会・佐原	
	葉菜類で検査済	葉菜野果・沃土・八街・遠州	
にら	品目で検査済	元気会	
ねぎ	品目で検査済	葉菜野果・野菜くらぶ・和郷	
	葉菜類で検査済	常総・たまつくり・南埼玉・八街	
葉ねぎ	品目で検査済	谷田部・八千代・村悟空・佐原	
	葉菜類で検査済	村悟空・南伊豆	
ブロッコリー	品目で検査済	谷田部・常総産直・沃土・海上・佐原・サンド旭・八街・和郷	
	検査予定	あいづ	
パピーリーフ	品目で検査済	フェニクス・レインボー	

分類	品目名	放射能検査の状況	
葉菜	ほうれん草	品目で検査済	新しいわて・常総産直・草の会・沃土
		葉菜類で検査済	あいづ・谷田部・八千代・有機農法ギルド・たまつくり・野菜くらぶ・佐原・八街・和郷・風土の会
		検査予定	八ヶ岳モグラ会
	みず菜	葉菜類で検査済	谷田部・葉菜野果・沃土・佐原
	ルッコラ	葉菜類で検査済	葉菜野果・沃土・南埼玉・和郷
レタス	品目で検査済	野菜くらぶ・和郷・佐久ゆき	
	葉菜類で検査済	谷田部・八千代・常総産直・やさと・野菜くらぶ・草の会・南埼玉・沃土・海上・佐原・八街・風土の会・グットファーム・トップリバー	
	検査予定	菅平	
若芽ひじき	品目で検査済	寺島	
根菜	ごぼう	根菜類で検査済	清瀬
		検査予定	利根川
	しょうが	品目で検査済	和郷
	じゃがいも	根菜類で検査済	谷田部・常総・たまつくり・佐原・八街・和郷・葉菜野果
		検査予定	埼玉産直・海上
玉ねぎ	品目で検査済	たまつくり・埼玉産直・小田原	
大根	根菜類で検査済	海上	
	検査予定	元気会	
	品目で検査済	谷田部・有機農法ギルド・葉菜野果・村悟空・海上・佐原・和郷	
	根菜類で検査済	たまつくり・八千代・沃土・八街・風土の会	
長芋	根菜類で検査済	葉菜野果	
人参	品目で検査済	あゆみの会・和郷・風土の会	
	根菜類で検査済	谷田部・たまつくり・八千代・村悟空・海上・佐原	

●2016年産米の検査

検査対象の産直産地のお米の検査を玄米で行い、検査は全産地終了しました。
2016年産の下記の産地・銘柄は、すべて不検出です。

青森県: JA津軽みらいの青森つがるロマン
岩手県: JAいわて花巻の岩手ひとめぼれ、JA新しいわての岩手いわてつこ
宮城県: JAみどりの宮城ひとめぼれ
秋田県: JAこまちの秋田あきたこまち・オーリア21の秋田あきたこまち・花咲農園の秋田あきたこまち・JA秋田ふるさとの秋田あきたこまち、JAかづのの秋田淡雪こまち
山形県: JA庄内たがわの山形はえぬき、JA山形おきたまの山形ササニシキ、庄内協同ファームの山形つや姫
福島県: JA会津よつばの会津こしひかり
新潟県: JA北蒲みなみの新潟こしひかり・JAささかみの新潟こしいぶき・JAIにいがた南蒲の新潟こしひかり・JA魚沼みなみの魚沼こしひかり・JAえちご上越の新潟こしひかり・謙信の郷の新潟こしひかり・JA佐渡の佐渡こしひかり
茨城県: JAつくば市谷田部の茨城こしひかり
栃木県: 日本の稲作を守る会の栃木こしひかり(19検体中17検体不検出 2検体は白米で検査を行い不検出)
千葉県: JA君津市の千葉ふさおとめ・ちば緑耕舎の千葉こしひかり
埼玉県: 南埼玉産直ネットワークの彩のかがやき
長野県: JA佐久浅間の長野こしひかり

放射能は玄米のぬかにたまる傾向があります。玄米で検査後、供給は白米および玄米で行います。

●青果以外の牛乳・牛肉・卵・食肉類および加工品の対象商品はすべて検査をしています。*酒類はみりんと料理酒を検査対象としています。

●青果の検査分類表

大分類	中分類	代表的な品目名
果実(くだもの)	—	みかん、りんご、いちごなど
果菜	果菜	きゅうり、トマト、なす、オクラなど
	未成熟豆類	枝豆、いんげん、スナップえんどうなど
葉菜	結球性・非結球性葉菜	アスパラ、キャベツ、白菜、ほうれん草、小松菜、ねぎなど
	花蕾・莖菜	ブロッコリーなど
	根菜	玉ねぎ、人参、しょうがなど
根菜・いも類	いも類	さつまいも、里芋など

●きのこ類

放射能が検出されていない産地(3Bq/kg 以下)

品目名	放射能検査の状況	
えのき茸	品目で検査済	飯山
エリンギ	品目で検査済	小川きのこと・南伊豆・渡辺きのこ
生きくらげ	品目で検査済	きのこ総研
しめじ(ひらたけ)	品目で検査済	谷田部
とらまき茸	品目で検査済	丸金グループ
ぶなしめじ	品目で検査済	谷田部
ささかみのまいたけ	品目で検査済	ささかみ
マッシュルーム	品目で検査済	村悟空・三蔵
谷田部の若手生産者きのこセット	品目で検査済	谷田部 *生しいたけ・なめこから放射能が検出されました。

●検出された商品

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
生しいたけ(原木栽培)	谷田部	2017/5/10	16
徳用生しいたけ(原木栽培)			
お料理セットの生しいたけ			
谷田部の若手生産者きのこセットのしいたけ			
谷田部の原木しいたけ(はねだし)			
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
なめこ	谷田部	2017/3/24	4.4
谷田部の若手生産者きのこセットのなめこ			
パルシステムの独自ガイドライン			25
政府の基準値			100

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
コアフード 栃木こしひかり(玄米)	日本の稲作を守る会	2016/10/21	3.9
パルシステムの独自ガイドライン			10
政府の基準値			100

*白米では不検出でした

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
コトコ きなり 344	豚のチンジャオロースセットのしいたけ	2017/5/8	4.9
297			
コトコ きなり 345	豚肉のピリ辛味噌マヨ炒めセットのしいたけ	2017/5/10	16
-			
コトコ きなり 349	担々マーボー豆腐セットのしいたけ	2017/5/10	16
299			
コトコ きなり 360	香ばしあんかけ焼きそばセットのしいたけ	2017/4/24	3.3
-			
コトコ きなり 111309	白身魚のきのこあんかけセットのまいたけ水煮	2017/4/24	3.3
302			
コトコ きなり 111279	厚あげときのこの中華炒めセットのまいたけ水煮	2017/4/24	3.3
298			
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
120粒:185540 240粒:186350	ブルーベリー&ルティン	2016/11/1	6.5
パルシステムの独自ガイドライン			25
政府の基準値			100

●青果の検査について

*北海道を除く東日本(新潟県・長野県・静岡県以東の本州17都県)のカタログ掲載産地において、分類ごとに一品目以上検査をしています。報告の時点で検査が間に合わない品目については、供給前までには放射能検査を実施します。
*旬のある果物などの検査は、シーズンでの収穫の時期のみになります。それ以外はおおよそ半年に1回以上の頻度で検査を行なっています。検査の日付は省略しています。
*検査対象外地域でも放射能検査を実施している場合がありますが、掲載は省略しています。
*yumyum 果物セットにセットされている果物は、検出下限値1Bq/kgで検査を行っています。

2016 年度のパルシステム検査報告 その 4

2016 年度を振り返り、検査結果の概要を報告いたします。

● 2016 年度の米の検出状況

米は、2016 年度は 27 産地 67 検体の検査を行いました。

茨城、千葉、栃木、福島の産地については、複数の検体を検査しております。米は玄米で計測しています。米はぬかの部分にほとんどの放射能が蓄積されることが知られており、より放射能の状況を確認するため玄米で検査しています。

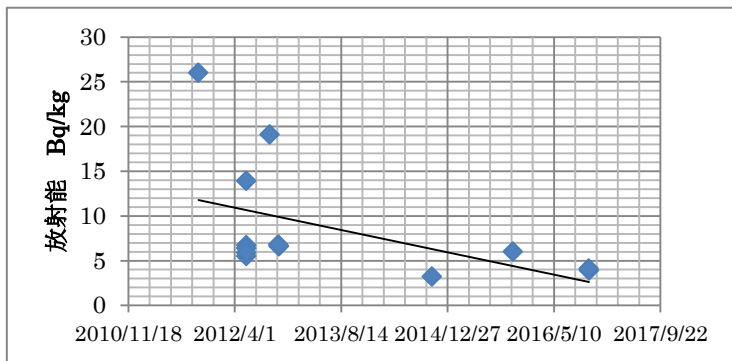
放射能は、土壌中に降下した後、一年ごとに地下に浸透していきます。そのままにしておくと、稲が放射能を長い間吸収してしまうために、2011 年に反転耕起(深さ 40cm 程度で田んぼの土を反転させること)を行い、放射能が含まれていない土壌と交換しました。また、河川からの放射能の流入があるので、田んぼへの水を引き入れる場所へは放射能を吸収するためのもみ殻などを置いて対策をたててまいりました。

2016 年度は、栃木県の「日本の稲作を守る会」より放射能が検出されました。産地では、代かきを 2 回行い、土壌中の放射能を洗い流したり、河川からの放射能流入を阻止したり、放射能を吸収しないようにカリウムの成分を多くするなどの対策を行ってきています。玄米を精米し、ぬかの部分を除去すると放射能は不検出となりました。2017 年度も引き続き対策を行ってまいります。

● 過去 6 年間の検出状況

下の表は、過去 6 年間に計測してきた米を玄米で検査したうち、放射能(セシウム 134+セシウム 137 の合計)を検出した数値をグラフ化したものです。ヨウ素 131 は過去に検出されませんでした。

原発事故のあった 2011 年であっても、国の基準である 100Bq/kg を超える玄米はパルシステムではありませんでした。当時、土壌を計測し、いち早く田への対応を行い、玄米で計測する前に稲体でも計測するなど注意深く対応しました。



放射能は年々減少しております。生産者の原発事故発生当初からの対応の効果のためであると思えます。

行政検査の検出情報

- 厚生労働省発表「食品中の放射性物質の検査結果について(第 1030)」(2017/2/2~2017/4/9 で採取・購入された検体検査)より、国の定めた基準セシウム合計 100Bq/kg 未満で検出された上位数点です。

原木シイタケ: 宮城県南三陸町、栃木県宇都宮市ほか 3.1~44Bq/kg
 タケノコ: 栃木県宇都宮市・千葉県八千代市ほか 1.7~39Bq/kg
 イワナ: 群馬県中之条町(上沢渡川)ほか 14~77 Bq/kg

- 福島県の緊急調査で国の定めた基準セシウム合計 100Bq/kg 未満で検出された上位数点です。

クサソテツ: 福島県会津若松市、三島町ほか 5.9~53Bq/kg
 行者ニンニク: 福島県相馬市 35Bq/kg
 原木シイタケ: 福島県喜多方市ほか 6.4~28Bq/kg
 タラの芽: 福島県新地町・広野町ほか 7~20Bq/kg
 イワナ: 福島県福島市(阿武隈川水系) 14~92Bq/kg
 ヤマメ: 福島県福島市・西郷村(阿武隈川水系) 9.8~31Bq/kg

- 国立医薬品食品衛生研究所の放射性セシウムの検査結果より、国の定めた基準値 100Bq/kg に検出された検体は以下の通りです

シイタケ: 茨城県の流通品 120 Bq/kg

国の定めた基準値 100Bq/kg 未満で検出された検体の上位数点です。

シイタケ: 茨城県・栃木県の流通品 11~59 Bq/kg
 干しシイタケ: 栃木県の流通品 33 Bq/kg

パルシステムの放射能検査について

● 独自ガイドライン(自主基準)と検出限界について

パルシステムでは食品の残留放射能について独自ガイドライン(自主基準)を設定しています。放射線にはこれ以下なら安全という「しきい値」がないので、**基準以下であっても、放射能低減を追求します。検査の結果、自主基準を超えるものについては供給いたしません。**また、独自ガイドラインは継続的に見直しを行いません

自主基準(独自ガイドライン)(セシウム 134,137 の合計)			国の規格基準
2014 年 10 月より現行基準	現	旧	
水、飲料、牛乳、乳製品、米、乳幼児用食品	10	10	水、飲料茶 10 乳幼児用食品、牛乳 50
青果類(きのこ類除く)、肉類、卵、魚介類、 その他食品、きのこ類(しいたけ除く)	25	50	一般食品 100
しいたけ	100	100	

* 乾燥食品は生原料や摂食状態で検査します。(単位 Bq/kg)

* 乳幼児用食品は「yumyum」掲載商品とインターネットの赤ちゃん推奨商品。

5 月の放射能検査状況

5 月の検査は 5 日までで、**放射能の検出はありませんでした。**

乳幼児用食品は、検出下限値を 2016 年 4 月から 1Bq/kg に下げましたが、現在まですべて不検出です。

放射能検査の状況(検査件数、かつこ内は検出数、網がけは検出された分類)

	5 月	4 月の検出内容	4 月
青果	6 (0)		卵 0 (0)
しいたけ	1 (0)	生しいたけ(原木栽培)11、6.7Bq/kg お料理セットのしいたけ 3.1、3.6Bq/kg	魚介類 3 (0)
その他のきのこ類	4 (0)	お料理セットのまいたけ水煮 3.36Bq/kg	飲料水・飲料 3 (0)
米・米飯類	0 (0)		乳幼児用食品 2 (0)
牛乳・乳製品	3 (0)		その他加工食品 42 (0)
肉類	0 (0)		合計 64 (0)

2016 年度の放射能検査の状況(2016 年 4 月~2017 年 3 月)

青果	2016 年 5 月に小田原のパレンシアオレンジの 3 件中 1 件から 3.2Bq/kg が検出されました。2017 年 2 月に常総センターのれんこんで 3 件中 1 件(6.1Bq/kg)から放射能が検出されましたが、自主基準内でした。
しいたけ、 他のきのこ	生しいたけが(3.1~13Bq/kg)、しめじ(ひらたけ)が(3.0~3.5Bq/kg)、ぶなしめじが(3.1Bq/kg)、なめこが(4.4Bq/kg)で、放射能が自主基準内で検出されました。他のきのこ類は放射能不検出です。
米	2016 年産米の検査は 26 産地 67 検体の検査を行いました。日本の稲作を守る会の栃木こしひかり(玄米)を検査したところ、2 件(3.9、4.1Bq/kg)の検出がありました。検出された産地の米は、白米で検査を行い不検出でした。 米の検査は全産地終了しました。 * 放射能はぬか部分に多く蓄積します。検出されました栃木こしひかりは、不検出が確認されました白米でのお届けとなります。
牛乳、肉、卵	産地ごとに定期的に検査し今年度放射能は検出されていません。
魚介類	魚介類で放射能は検出されていません。
乳幼児用食品	検出下限値 1Bq/kg で検査を行い、すべて不検出です。
その他加工食品	<お料理セット> 肉・豆腐などは定期的に検査を行っています。野菜のみを毎月検査を別途行っています。菌茸類については毎週検査を行っており、しいたけおよびしいたけ水煮(3.1~11Bq/kg)、まいたけ水煮(3.2Bq/kg)から自主基準内ですが検出しています。その他の菌茸類からの検出はありません。
	<大豆加工品> 豆腐、納豆、味噌、醤油など大豆加工品は、2014 年産および 2015 年産原料で検査を行っているものと、製品で検査をおこなっているものがありますが、 放射能は検出されていません。
	<その他> 2016 年 11 月にサプリメントのブルーベリー & ルテイン(6.5 Bq/kg)から自主基準内で検出がありました。

● 検出限界について

高性能に放射能を計測できるゲルマニウム半導体検出器を 2 台導入して計測しています。yumyum および赤ちゃん & Kids の OK 食品としている乳幼児用食品については、検出下限値を 1Bq/kg まで検査しております。

検出限界(セシウム 134, 137 それぞれ)		
2016 年 4 月 1 日から新基準に変更	新	旧
乳幼児用食品	1	3
水、飲料、牛乳、乳製品、米、青果類、肉類、卵、魚介類、 その他食品	3	

● 放射能検査の対象範囲について

農畜産物とその加工品	北海道を除く東日本産(新潟・長野・静岡以東の本州産)
水産物とその加工品	日本沿岸・近海・一部の北太平洋・淡水産水産物